



オーケストラ  
Orchestra

スイス・ロマン管弦楽団

Orchestre de la Suisse Romande  
<https://www.osr.ch>

プレジデント：シャルロット・ド・セナルクロン  
ジェネラルマネージャー：スティーヴ・ロジェ  
音楽／芸術監督：ジョナサン・ノット  
会場：VH=ヴィクトリアホール/MH=メトロポールホール

聴きどころ

ジュネーヴ湖畔音楽祭でシーズンが開幕する当楽団は、2016年から音楽／芸術監督であるジョナサン・ノットとの契約を更新して、第2期がスタートする。その後すぐにグシュタートのメニューインフェスティヴァルで、ペッリーニ《清教徒》が興味深いキャスティングだ。当地で学んだドミンゴ・インドヤン指揮、リゼット・オロペーザ、アーウィン・シュロット、ハヴィエル・カマレーナなど豪華な顔ぶれ。9月にはモントルー・ヴヴェイ9月音楽祭で、メゾソプラノの

マリー=クロード・シャピユイを迎えたデュパルクの歌曲とオネゲル「交響曲第3番《典礼風》」を演奏する。今シーズンのアーティスト・イン・レジデンスはフランク・ペーター・ツィンマーマンで、3つのプログラムを聴かせるが、それ以外にもヴァイオリンに重点が置かれている印象だ。他、マルタ・アルゲリッチとマリア・ジョアン・ピリスのピアノ・デュオ、ファン・ディエゴ・フロレスとダニエル・ハーディングのサブライズコンサートなども聴き逃したくない。

● 8月26日

ジュネーヴ湖畔音楽祭

J.ノット(指揮)、Y.レヴァノン(p)

ストラヴィンスキー「協奏的舞曲」、ガーシュウィン《ラプソディ・イン・ブルー》、アダムズ《ザ・チェアマン・ダンス》、ストラヴィンスキー《ロシア風スケルツォ》

● 9月23日 (VH)

S.ブルニエ(指揮)、D.フライ(p)

オネゲル「交響的運動第1番《パシフィック231》」、ブーランク「ピアノ協奏曲」、リムスキー=コルサコフ《シェエラザード》

● 9月29日 (VH)、30日 (MH)

J.ノット(指揮)、F.P.ツィンマーマン(vn)

バルトーク「ラプソディ第2番」、マルティヌー「協奏的組曲」、ドヴォルジャーク「交響曲第8番」

● 10月8、10日 (VH)

F.ルイジ(指揮)、L.デ・ラ・サル(p)

ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第4番」、チャイコフスキー「交響曲第5番」

● 10月24、25日 (VH)

O.リーニフ(指揮)

バーバー「弦楽のためのアダージェヨ」、ドヴォルジャーク「交響曲第9番《新世界より》」

● 10月28、29日 (VH)

ジュネーヴコンクール

[28日：チェロ部門] G.フリッチュ(指揮)

ショスタコーヴィチ「交響曲第2番」、エルガー、シューマン、デュティユー、ルストワフスキ

[29日：オーボエ部門] D.ボイド(指揮)

高木日向子《L'instante》、D.アランゴ=ブラダ《Dune》、R.シュトラウス「オーボエ協奏曲」

● 11月13日

ファミリーコンサート

B.ヴィルマン(指揮)

ユイレ《小さな王子様》